

『平成28年度南ユタ大学短期プログラム報告書』

岩見沢校 美術文化専攻 3年 押切 彩

この報告書を読む人はアメリカ留学を考えている人だと思うので調べてもなかなか出てこなくて困ったことを最初にご書いておきます。まずは気候と服装です。滞在地のシーダーシティは温度差が激しい地域です。朝夜はかなり冷え込み、10度前後になることもあります。それに対して、昼間は25度前後になります。なので、私はジーンズに朝夜は裏地がフリースのパーカー、昼間は半袖という感じでした。また、大学内、建物の中はクーラーがかなり効いています。私はほぼ毎日、一日中パーカーを着ていました。寒がりな方は、厚手のパーカーなどを持っていくことをお勧めします。二つ目は食べ物についてです。飲料水については、冷蔵庫に水が出る場所があってそれを飲んでいました。この地域が、軟水か硬水かはわかりませんでした。食べ物は、朝はコーンフレーク、食パンが中心でたまにホストファザーがパンケーキやスクランブルエッグを作ってくれました。昼は自分でサンドウィッチを作ったり学校の購買やメインストリートで食べていました。夜はさっぱりしたものが多く、野菜も結構出てきました。基本皆さんが想像するアメリカっぽい食事ではありませんでした。そのおかげか体重が2kg減っていました。こちら辺は滞在する家によると思います。3つ目はシーダーシティについてです。田舎ですが大学付近は栄えていて、岩見沢ほどではありません。この町はモルモン教という宗教が強いからか治安は良いと言えます。リュックでも大丈夫です。ですがやはり日本とは違うので警戒しておいても損はありません。電柱というものがほぼなく、夜は家のひかり程度なので場所によっては真っ暗で迷子になる可能性大です。私は一人で迷子になって彷徨って少し怖い思いをしました。あと、外国ではチップ制度がありますが、チップはほぼ必要ありませんでした。

日本からアメリカへの経路は、まず飛行機で新千歳から韓国に向かい、韓国からラスベガスに向かいました。ラスベガスの気候はさらっとした暑さでした。ラスベガスから3～4時間車に乗っていると、滞在先のシーダーシティにある『南ユタ大学』に着きました。ついた頃にはもう夜の12時頃だったと思いま

す。すこしひんやりしていました。そこではじめてホストファミリーを知らされました。大体一家族に学生2人ずつという感じでした。大学からホストファミリーの家までは車で10分（歩けば40分）でした。ホームステイ先には留学生が2人いました。そのうち一人が、韓国人の女の子だったんですが日本語が上手で色々教えてくれました。私たちが知らされていた予定としては、初日から4日ほどはホームステイ先の家で過ごす、となっていました但实际上は次の日から学校がありました。一応予定表（大学のカリキュラム）を出国前にもらっていましたが、その後もその通りには全く進みませんでした。しかしながら、小学校に日本文化を教えにいくプレゼンテーションがあったり、ブライスカニオンに登ったり、色々体験しました。アメリカの大学は日本の大学とはかなり雰囲気が違います。アクティビティは楽しいものが沢山あったことに対して、正直に言うと授業は満足いかないことが多くありました。それを先生に伝えることで何かしらの対策をしてくれたかもしれません。それが心残りです。ですが、日本を出て違う文化に触れるという点では満足しています。最終日はラスベガスのアウトレットで買い物をしたりと全体を通すと楽しく過ごせたと言えらると思います。

今年は、前年と比べて一週間短い3週間のプログラムでした。小さなトラブルはありましたが、テロなどに巻き込まれたりせずに帰って来られて良かったと思います。帰国後はもう一周間長く滞在したかったという気持ちが残りました。



ブライスカニオン①



ブライスキャニオン②



大学内の風景



大学付近のカフェ